

国立精神・神経医療研究センター病院にて 薬物依存症外来を受診された方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症外来に受診した際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2024 年 4 月 1 日より2026 年 3 月 31 日までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院薬物依存症外来で「市販薬・処方薬依存症患者の依存症集団療法の効果に関する研究」に参加された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立精神・神経医療研究センター病院

所属・氏名：病院長 戸田 達史

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：市販薬・処方薬依存症患者の依存症集団療法の効果に関する研究

研究期間：2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 松本俊彦

(共同研究機関)

昭和医科大学附属烏山病院 研究責任者 常岡 俊昭

埼玉県立精神医療センター 研究責任者 成瀬 暢也

(共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関)

株式会社マイビジネスサービス 責任者 村田 千世子

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等：以下の①と②のデータ

①追跡開始時の収集データ：対象者の基本属性（性別、年齢、最終学歴、就労状況、婚姻状況）、薬物

関連変数（主たる使用薬物、DAST-20 得点）

②追跡期間中における収集データ：社会的・心理的・職業的機能（GAF 得点）の変化、追跡期間中における外来通院継続の有無、集団療法継続の有無、精神的健康（GHQ-30 得点）、薬物乱用日数、危険な使用の有無と内容

（取得方法）オンラインアンケートによって収集

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたくて取り扱います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

2026 年 9 月を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属：薬物依存研究部 氏名：松本 俊彦

電話番号：042-341-2711

e-mail: tmatsu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）